

◎第7回理事会 (36.12.20) 出席者：永田会長ほか副会長および理事9名。議事：1) 特別員勧誘に関する事項。2) 正員、学生会費改正案について。3) 支部特別交付金の還元率について。4) トンネル工学委員会設置についての提案を承認。5) 37年度文部省科学研究費等分科審議会委員の候補者の推薦について。6) 東北地区常議員に小西則良氏(田坂栄美氏の後任)、水理委員会委員に井田至春氏(柴原孝六郎氏の後任)の委嘱を承認。7) 耐震工学委員会委員に谷藤正三氏、上田健太郎氏(篠原武司氏の後任)の委嘱を承認。8) その他。9) 11月中の会員入退会、会計報告その他を承認。

◎各種委員会

(1) 定款改正委員会 ① (36.11.28) 出席者：委員5名。議事：第24条より第37条まで審議。② (36.12.16) 出席者：委員2名。議事：第38条より第50条まで審議し、一応第一読会を終り、全条整理の上第二読会を審議する。

(2) 第7回構造物耐震設計研究委員会幹事会 (36.11.29) 出席者：岡本副委員長、ほか委員および幹事13名、池田(東京工事局)氏。議事：1) 第4章支承部の耐震設計について。2) 首都高速よりの資料の説明。3) 第3章地震時土圧、法面の安定水圧について審議。4) 次回は1,6,7章につき審議する。

(3) 臨時耐震工学委員会 (36.11.29) 出席者：那須委員長ほか委員7名。議事：1) 委員の交代について・元土研所長横田委員は留任、新土研所長谷藤氏を新たに追加、藤原氏の後任に上田氏を追加。2) 土木賞候補推薦論文の件・該当論文をあげ橋梁、港湾、ダム、の3部門にわけ、それぞれ担当者をきめ、12月中旬に委員長宛推薦することに決定。3) IAEE定款の件・国際組織の定款につき11月30日までに意見を申出るべく逐条審議した。4) 国際地震研修センターについて・その後の進捗状況につき久保委員が報告。

(4) 第3回論文集部会長会 (36.11.30) 出席者：丸安、林正副委員長、久保、山川両部会長、ほか委員3名。議事：1) 各部会報告。2) 会員外からの投稿論文の取扱いについて。3) 論文集を読みやすくするために種々検討した。4) 論文集月刊への切り換えについて協議した。5) その他。

(5) 第7回文献調査委員会 (36.12.1) 出席者：久野委員長、ほか委員、幹事9名。議事：1) 47巻1号登載抄録、目録について。2) 会誌増ページにともない抄録欄の増ページについて。3) 投稿原稿の取扱い。3) その他。

(6) 地震工学国内シンポジウム幹事会 (36.12.4) 出席者：岡本委員長、ほか委員4名、建築、土質、土木の職員3名。議事：1) シンポジウム準備作業案ならびに収支予算案につき事務局提出の資料により審議した。2) その結果を事務局で取りまとめ、委員および幹事に送付了解を求める。3) 新たに気象庁(広野氏)を委員として追加する。

(7) フライアッシュ幹事会 (36.12.5) 出席者：委員、幹事4名。議事：1) 鉄筋、フライアッシュ、セメントの発送について。2) セメント袋の準備について(不足分)。3) 長期研究計画書の検討(特に試験について)。4) 委員会開催日時の打合を行ない、12月22日14時から決定。5) その他。

(8) 50周年記念事業常任委員会 (36.12.4) 出席者：委員11名。議事：1) 記念事業委員会の委員長は会長とする。① 寄付金等に関するものは記念事業委員会委員長名とする。② 各種事業はおのおのの事業委員会委員長名で進め、記念事業委員会

が調整する。2) 常任委員会は記念事業の企画をするものとする。3) 会館建設は現用地に都条令にかなった建築をする方針で次回建築の計画を提案してほしい。国鉄における用地の将来売却の問題、現用地の公園敷地解除の問題などを研究のため、次回に国鉄、東京都のそれぞれの関係者に出席を願うこと。

(9) 第1回PC鋼材分科会 (36.12.5) 出席者：国分委員長、富田主査、ほか委員、幹事14名。議事：1) 委員長および主査挨拶、各委員の自己紹介。2) 委員会より分科会への要望事項の説明。3) 土木学会よりの調査要項につき審議。4) 鋼線側委員の確認

武尾敬之助	住友電工	水馬克久	高周波熱線
名見邪 亙	神戸製鋼	宮川一郎	南海製線
川端 義 則	神鋼鋼線	新保 赳 夫	東京製鋼
中川 昭	鈴木金属	伊藤 祐 吉	興国鋼線

なお中川氏は鋼線側幹事を兼任する。

(10) 第6回会誌編集小委員会 (36.12.6) 出席者：堺副委員長、ほか委員2名。議事：1) 47巻1号よりの表紙については再検討の上、見本刷を本委員会に提出。2) 新年号の内容はなるべく軽いものとする。3) その他。

(11) 第1回RC工場製品に関する分科会 (36.12.6) 出席者：国分委員長、杉木主査、ほか委員、幹事9名。議事：1) 委員長挨拶および委員の自己紹介。2) 委員の追加について・プレストレストコンクリート関係より1名追加すべく杉木主査に一任。3) 工場製品の名称について。4) RC示方書に取上げるべきRC製品関係の内容と範囲について。5) 分科会運営方針について。

(12) 土木工学ハンドブック第7編 材料 執筆者打合せ (36.12.7) 出席者：関係者9名。協議事項：1) 執筆担当部門およびページ数について。2) 内容について。3) 未決執筆者について。4) 幹事会へ提出する問題について。

(13) 第2回RC荷重に関する部会 (36.12.8) 出席者：委員4名。議事：前回(11.15)の部会で担当した原案につき審議・12月25日の幹事会に報告するべく検討した。

(14) 第1回プレストレストコンクリート小委員会幹事会 (36.12.8) 出席者：国分委員長、ほか分科会主査および幹事12名。議事：1) PC指針、RC示方書等を英訳する件(スウェーデンからの依頼)。2) 学会指針に関する外部の転載について。次期改訂までの予算について。3) 各分科会の活動方針について。4) その他。

(15) 第1回吉田賞幹事会 (36.12.8) 出席者：委員および幹事6名。議事：吉田賞および吉田研究奨励金候補募集の宣伝先につき検討した。1) 吉田賞委員会委員。2) コンクリート関係委員全員。3) 耐震工学委員会委員長。4) 橋梁構造委員会委員長。5) その他(学会名簿による)。

(16) 第1回RC・柱、フラットスラブに関する部会 (36.12.8) 出席者：委員5名。議事：1) 前回小委員会の報告。2) らせん鉄筋柱に関する実験報告。3) 偏心軸方向荷重を受ける柱に関する件。4) フラットスラブ構造について。5) 鉄筋の継手について。6) その他。

(17) PC鉄道橋設計施工基準幹事会 (36.12.11) 出席者：関係者9名。議事：PC鉄道橋設計施工基準のうち施工部門につき鉄道部門担当者の意見を聞いた。

(18) 第2回RC版に関する部会 (36.12.11) 出席者：関係者4名。議事：鉄筋コンクリート標準示方書改訂のための版に関する部分の審議を行なった。

(19) 第8回異形鉄筋設計研究小委員会 (36.12.12) 出席者：国分委員長、ほか委員11名。議事：1) ラーメンアバットの図

面および計算書の再審議ほか、道路橋関係の未解決の点を審議、あとは鉄道橋の計算だけがのこった。2) 次回は一般に発表する形式をとり、それぞれ審議を始める。

(20) 第2回出版企画委員会幹事会(36.12.13) 出席者:八十島幹事長,奥村理事,末森専務理事ほか委員,幹事8名。議事:1) 下半期出版計画の検討。2) 土木工学ハンドブックの改訂報告。3) 学会刊行物の版權についての協議。4) 土木工学用語事典の編集についての検討。5) 土木製図(高校教科書)の監修およびワーク・ブックスについて。6) 建設年鑑の企画。7) 北米濃地震調査報告書の出版を決定。8) 委員長の後任問題。9) その他。

(21) 第1回RC・はり,ラーメンに関する部会(36.12.14) 出席者:委員9名。議事:1) RC標準示方書のうち,はり,ラーメンに関する条項を改訂すべく審議した。2) 結果は12月23日までに担当の分の意見を学会宛提出する。

(22) 第1回RCフーチングに関する部会(36.12.14) 出席者:委員6名。議事:1) RC示方書改訂の方針について。2) 目次の審議。3) 構造物の中では何々を取り上げるか。4) 21章(案)の作成。5) その他。

(23) 第1回土木工学ハンドブック委員会幹事会(36.12.14) 出席者:福田委員長,奥村理事,ほか関係者27名。議事:1) 福田委員長および奥村理事より経過報告。2) 委員会名を「土木工学ハンドブック委員会」とする。3) 原稿期限を確認。4) 主査,執筆者,幹事について各部で検討すること。5) 執筆上の基本方針について。6) 幹事会の任務について。7) その他。

(24) 第3回PCグラウト分科会(36.12.15) 出席者:国分委員長,樋口主査,ほか委員,幹事9名。議事:1) PC橋施工概況調査の様式につき検討。2) 第2回議事の報告。3) その他。

(25) 第5回海外連絡委員会(36.12.15) 出席者:田中委員長,ほか委員,幹事8名。議事:1) 英文年報に関する件・㊤編集経過の報告 本文A4版100ページ,広告20ページ,37年2月末できる予定,㊤ 広告収入 共栄通信社取扱い20ページ最低75万円の計画,㊤ 頒布部数 初版2000部として,必要に応じ増刷をする,㊤ 頒布先の計画 国内(出版関係をふくみ)500部,海外1000部,海外連絡のための売却見込500部,㊤ 定価 国内700円(送料共) 国外\$3.00(送料共)。2) 37年の国際会議出席候補者推薦について・㊤ 専門委員会がある場合はその委員会で候補者を選び海外連絡委員会に提案してもらう,㊤ その他の場合は海外連絡委員会の人選とする。3) 海外よりの訪問者については委員長または幹事長と連絡して緊急を要する場合は適当に事務局で処理する。

(26) 第2回合成桁鉄道設計示方書に関する研究委員会(36.12.15) 出席者:沼田委員長,ほか委員・幹事21名。議事:1) 前回議事録につづき,シヤコネクターの強さ,特に疲労強さについて討議。2) 合成桁鉄道橋のインパクトについて。3) 鋼桁,版のコンクリート,鉄筋の許容応力度およびその割増しについて。

(27) 第2回トンネル工学研究委員会設置に関する打合せ(36.12.18) 出席者:関係者15名。議事:丸安教授司会となり,1) 委員会名を「トンネル工学委員会」とする。2) 設立趣意書を長浜,奥村両理事が理事会への提案者となる。3) 委員長候補を藤井松太郎氏とし理事会に提案する。4) 第2回打合会に出席を要請した19氏を委員として,さらに次の方々を追加し理事会に提案する。

井深 功氏 横浜水道局長 田中治雄氏 電力技術研究所  
官崎政三氏 鉄道技術研究所 農林省関係(加納氏接渉)

5) 幹事長および幹事を次のとおり提案する

幹事長 加納俊二氏 幹事 伊吹山四郎氏  
幹事 小針滋郎氏 “ 丸安隆和氏  
“ 吉村 恒氏 “ 森 宣 制氏

6) 専門委員会を組織する場合は会員外の委員も認めること。

## 支 部 だ よ り

### ◎東北支部

地区常議員交代(36.12.20 付)

(新) 小西則良氏(東北地方建設局長)

(前) 田坂栄美氏(同上辞任につき)

地区水理委員会委員交代(36.12.20 付)

(新) 井田至春氏(東北地建岩沼工事事務所長)

(前) 柴原孝太郎氏(建設省河川局計画課長に転出)

### ◎中部支部

役員変更(36.12.16 付)

顧問 深井浩三氏を評議員に変更(日本道路公団名古屋支社長)

### ◎関西支部

(1) 技術講座2号(26.12.5~6の2日間 京都大学)

講座名 土木耐震設計

講師 京都大学教授 工博 後藤尚男

参加者 140名 参加費 100円

(2) 第7回学生見学会(36.12.16) 名神高速道路山科試験所

および第一建設局工事現場を見学

参加者 157名 参加費 50円

(3) 土木賞ならびに吉田賞候補論文支部推薦査閲委員会

(36.12.15. 土木学会関西支部事務局)

出席者:幹事長 米谷,伊藤(代小田),岡田,大村,毛利,赤尾の各委員

(4) 第8回幹事会(36.12.15. 土木学会関西支部事務局)

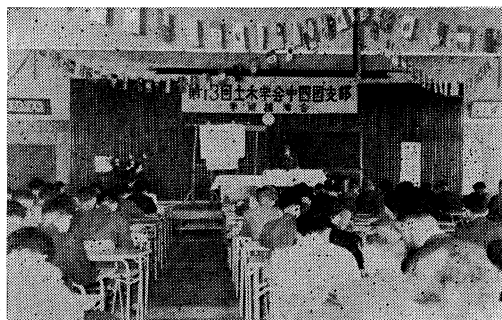
出席者:米谷幹事長,伊藤(代小田),岡田,岩崎,中川,大村,打田(代安原),赤尾,芳内,毛利の各幹事

### ◎中国四国支部

下記のとおり,第13回中国四国支部学術講演会ならびに見学会を,徳島市自治会館にて開催し,参加者200名を越え,盛会裡に終了することができた。

(1) 第13回学術講演会(36.11.8~9)

第13回学術講演会会場



講演総数 29編

特別講演 3編

(2) 見学会(36.11.10)

名田橋(ディビダグ)

鳴門観潮

小鳴門橋(吊橋)